

平成19年 4月27日

第131号

発行所 広島県歯科医師連盟
広島市中区宝町5-30 TEL(082)241-8020
編集兼発行人 栞田博昭



自民大敗、議席大幅減

連盟推薦候補者 32名中26名当選

第16回統一地方選挙

平成19年4月8日、第16回統一地方選挙前半戦となる県議選(定数66)、広島市議選(定数55)、広島市長選が県内で投票され、即日開票の結果、9日未明にかけて相次いで当選者が決まり、無投票当選の県議3人と併せて、県政と広島市政を担う新たな顔ぶれが出そろった。

4月8日統一地方選挙前半戦となる13都道府県知事、4政令市長、44道府県議、15政令市議の4選挙が投票された。広島市長選は、県議選、市議選との初の「トリプル選」となったのを反映し、投票率は53・75%と、前回は8・81ポイント上回った。期日前投票などを加え最終的には80年の政令市昇格後の7回のうち、2番目の投票率だった。男女別では女性が2・93ポイント高かった。選挙戦は過去2回と同様、自民が事実上の分裂選挙となり、さらにトリプル選と相俟って、有権者の関心を集めた形となった。区別では安佐北区が57・21%と最も高く、前回最

も低かった中区は51・80%と8・74ポイント上回った。広島県議選は、議選は53・72%だった。広島市長選では、47・87%と前回は4・93ポイント上回った。広島市議選は、議選は53・72%だった。自民党は42人から33人に大幅に議席を失った。県議連盟常任顧問で中区の林正夫県議は149票、大変残念ではあるが、完全敗北。しっかり勉強してまた出直します」と大きな目をまっ赤に腫らし、肩を落とした。選対本部の岸田文雄衆議院議員(広島1区)は市長、県議、市議のトリプル選で党として難しい選挙戦だったと無念さをにじませた。当日の有権者数は904787人。県議選では、自民党は42人から33人に大幅に議席を失った。議は七期目、石橋良三県議は五期目となり、これから一層歯科界の為に尽力していただきたい。各党ではこの選挙を今夏行われる参院選の前哨戦と位置付けている。広島市議選は、8区合わせて55議席を争った。9日未明までに現職50人、新人5人の当選が決まった。党派別では自民党は6人減の21人、民主党は1人増の2人、公明党は1人増の2人、共産党はそれぞれ現有の8、5議席を確保した。野町議選では山野千佳子氏が当選した。

統一地方選挙推薦候補者 結果

受付番号	候補者氏名	選挙種別	選挙区	推薦支部	備考
1	平田修己	県議会議員選挙	三原市・世羅郡	三原	落選
2	奥原信也	県議会議員選挙	呉市	呉	当選
3	林正夫	県議会議員選挙	広島市中区	広島市	当選
4	石橋良三	県議会議員選挙	安佐南区	安佐	当選
5	山崎正博	県議会議員選挙	安佐北区	安佐	当選
6	児玉浩	県議会議員選挙	安芸高田市	安芸高田	当選
7	吉井清介	県議会議員選挙	尾道市	尾道	当選
8	藤原正孝	大崎上島町長選挙	大崎上島町	竹原・豊田	当選
9	杉原秀明	県議会議員選挙	三次市	三次	落選
10	平浩介	県議会議員選挙	福山市	福山	当選
11	宇田伸	県議会議員選挙	福山市	福山	当選
12	中津信義	県議会議員選挙	福山市	福山	当選
13	川上征矢	県議会議員選挙	福山市	福山	当選
14	門田峻徳	県議会議員選挙	福山市	福山	当選
15	松岡宏道	県議会議員選挙	福山市	福山	当選
16	藤井正巳	県議会議員選挙	福山市	福山	落選
17	松浦幸男	県議会議員選挙	尾道市	因島	当選
18	竹鶴寿夫	県議会議員選挙	竹原市・豊田郡	竹原・豊田	落選
19	柏村武昭	広島市長選挙	広島市	広島市	落選
20	中本隆志	県議会議員選挙	広島市南区	広島市	当選
21	砂原克規	県議会議員選挙	広島市西区	広島市	当選
22	中本弘	広島市議会議員選挙	広島市南区	広島市	当選
23	永田雅紀	広島市議会議員選挙	広島市中区	広島市	当選
24	平野博昭	広島市議会議員選挙	広島市西区	広島市	当選
25	下原康充	県議会議員選挙	東広島市	東広島	当選
26	武田正晴	県議会議員選挙	広島市佐伯区	佐伯	当選
27	松井直資	県議会議員選挙	廿日市市	佐伯	落選
28	富永健三	県議会議員選挙	広島市佐伯区	佐伯	当選
29	岡崎哲夫	県議会議員選挙	府中市・神石郡	府中	当選
30	大井哲郎	県議会議員選挙	大竹市	大竹	当選
31	平谷祐宏	尾道市長選挙	尾道市	尾道	当選
32	山野千佳子	熊野町議会議員選挙	熊野町	安芸	当選

広島市長選では、敗北が決定的になると柏村氏は中区職町の事務所に現れ、「大変残念ではあるが、完全敗北。しっかり勉強してまた出直します」と大きな目をまっ赤に腫らし、肩を落とした。選対本部の岸田文雄衆議院議員(広島1区)は市長、県議、市議のトリプル選で党として難しい選挙戦だったと無念さをにじませた。当日の有権者数は904787人。県議選では、自民党は42人から33人に大幅に議席を失った。議は七期目、石橋良三県議は五期目となり、これから一層歯科界の為に尽力していただきたい。各党ではこの選挙を今夏行われる参院選の前哨戦と位置付けている。広島市議選は、8区合わせて55議席を争った。9日未明までに現職50人、新人5人の当選が決まった。党派別では自民党は6人減の21人、民主党は1人増の2人、公明党は1人増の2人、共産党はそれぞれ現有の8、5議席を確保した。野町議選では山野千佳子氏が当選した。

大幅に議席を失った。県議連盟常任顧問で中区の林正夫県議は149票、大変残念ではあるが、完全敗北。しっかり勉強してまた出直します」と大きな目をまっ赤に腫らし、肩を落とした。選対本部の岸田文雄衆議院議員(広島1区)は市長、県議、市議のトリプル選で党として難しい選挙戦だったと無念さをにじませた。当日の有権者数は904787人。県議選では、自民党は42人から33人に大幅に議席を失った。議は七期目、石橋良三県議は五期目となり、これから一層歯科界の為に尽力していただきたい。各党ではこの選挙を今夏行われる参院選の前哨戦と位置付けている。広島市議選は、8区合わせて55議席を争った。9日未明までに現職50人、新人5人の当選が決まった。党派別では自民党は6人減の21人、民主党は1人増の2人、公明党は1人増の2人、共産党はそれぞれ現有の8、5議席を確保した。野町議選では山野千佳子氏が当選した。

広島市長選では、敗北が決定的になると柏村氏は中区職町の事務所に現れ、「大変残念ではあるが、完全敗北。しっかり勉強してまた出直します」と大きな目をまっ赤に腫らし、肩を落とした。選対本部の岸田文雄衆議院議員(広島1区)は市長、県議、市議のトリプル選で党として難しい選挙戦だったと無念さをにじませた。当日の有権者数は904787人。県議選では、自民党は42人から33人に大幅に議席を失った。議は七期目、石橋良三県議は五期目となり、これから一層歯科界の為に尽力していただきたい。各党ではこの選挙を今夏行われる参院選の前哨戦と位置付けている。広島市議選は、8区合わせて55議席を争った。9日未明までに現職50人、新人5人の当選が決まった。党派別では自民党は6人減の21人、民主党は1人増の2人、公明党は1人増の2人、共産党はそれぞれ現有の8、5議席を確保した。野町議選では山野千佳子氏が当選した。

広島市長選では、敗北が決定的になると柏村氏は中区職町の事務所に現れ、「大変残念ではあるが、完全敗北。しっかり勉強してまた出直します」と大きな目をまっ赤に腫らし、肩を落とした。選対本部の岸田文雄衆議院議員(広島1区)は市長、県議、市議のトリプル選で党として難しい選挙戦だったと無念さをにじませた。当日の有権者数は904787人。県議選では、自民党は42人から33人に大幅に議席を失った。議は七期目、石橋良三県議は五期目となり、これから一層歯科界の為に尽力していただきたい。各党ではこの選挙を今夏行われる参院選の前哨戦と位置付けている。広島市議選は、8区合わせて55議席を争った。9日未明までに現職50人、新人5人の当選が決まった。党派別では自民党は6人減の21人、民主党は1人増の2人、公明党は1人増の2人、共産党はそれぞれ現有の8、5議席を確保した。野町議選では山野千佳子氏が当選した。

広島市長選では、敗北が決定的になると柏村氏は中区職町の事務所に現れ、「大変残念ではあるが、完全敗北。しっかり勉強してまた出直します」と大きな目をまっ赤に腫らし、肩を落とした。選対本部の岸田文雄衆議院議員(広島1区)は市長、県議、市議のトリプル選で党として難しい選挙戦だったと無念さをにじませた。当日の有権者数は904787人。県議選では、自民党は42人から33人に大幅に議席を失った。議は七期目、石橋良三県議は五期目となり、これから一層歯科界の為に尽力していただきたい。各党ではこの選挙を今夏行われる参院選の前哨戦と位置付けている。広島市議選は、8区合わせて55議席を争った。9日未明までに現職50人、新人5人の当選が決まった。党派別では自民党は6人減の21人、民主党は1人増の2人、公明党は1人増の2人、共産党はそれぞれ現有の8、5議席を確保した。野町議選では山野千佳子氏が当選した。

広島市長選では、敗北が決定的になると柏村氏は中区職町の事務所に現れ、「大変残念ではあるが、完全敗北。しっかり勉強してまた出直します」と大きな目をまっ赤に腫らし、肩を落とした。選対本部の岸田文雄衆議院議員(広島1区)は市長、県議、市議のトリプル選で党として難しい選挙戦だったと無念さをにじませた。当日の有権者数は904787人。県議選では、自民党は42人から33人に大幅に議席を失った。議は七期目、石橋良三県議は五期目となり、これから一層歯科界の為に尽力していただきたい。各党ではこの選挙を今夏行われる参院選の前哨戦と位置付けている。広島市議選は、8区合わせて55議席を争った。9日未明までに現職50人、新人5人の当選が決まった。党派別では自民党は6人減の21人、民主党は1人増の2人、公明党は1人増の2人、共産党はそれぞれ現有の8、5議席を確保した。野町議選では山野千佳子氏が当選した。

職域代表失えばただの陳情団体

千葉・奈良の地方区よりも2名出馬

第100回日歯連盟評議員会

平成19年3月23日(金)午後1時より新歯科医師会館1階「大会議室」に於て、第100回日歯連盟評議員会が開催された。本年度の事業計画、各会計収支予算案等が全て承認可決された。また、参議院選挙へ向けて石井みどり候補への更なる支援の要請があり、残る日程を命懸けで戦う力強い決意表明があった。

氏名点呼の後、蒲生洵副会長より開会の辞が述べられ、議事録署名人に静岡県の片岡靖長、沖縄県の真境名由守両氏が指名された。物故会員に対する黙祷が行われた後、永山一行会長より「安倍内閣になって半年が経ち、多くの重要法案が審議されているがその方向性がはつきりしない。支持率も低下しており、参議院選挙へ逆風とならぬかと懸念している。アメリカでは15%の人が医療保険を持っておらず、格差社会が更に広がり弱者が苛められている状況となっている。日本もアメリカ型の民間保険を導入しようとしており、現在の医療保険制度を守っていけるか否かの岐路に立たされている。これ以上弱者に負担がかからないよう、かつての社会保険制度に戻さなくてはならない。現在の社会保険を維持するために、医療費を削減するという議論には強く反対しなければならぬ。今年



残る日程を命懸けで戦っていきます

年一番の課題は、参議院選挙に勝ち、石井候補を国会に送り出すことであるが、支援者名簿の提出が都道府県によって差があり、非常に厳しい状況にあるので作戦の練り直しが必要と考えている。また、千葉県からは白須賀先生が、奈良県からは松井先生が地方区から出馬されるので、こちらにも支援していきたい。先般、2月1日に関口昌一議員を会長として、日本歯科医師連盟協議会が発足され、連盟役員と意見交換をしているところである。また、2月23日には自民党の社会保障制度調査会医療委員会のヒアリングが開催され、後期高齢者医療制度の問題、レセプトオンライン化、そして本来の診療報酬改定などについて話し合いを行ったところで、今後とも日歯と協力して会員のために最大の努力をしていきたいと考えている。旨の挨拶が行われた。

次いで、中原爽参議院議員より国会報告が行われた後、来賓挨拶に移った。大久保満男日歯会長は「第100回の記念すべき評議員会を心からお祝い申し上げます。この1年、主に診療報酬改定後の会員皆様からの批判を受けての対応と医療制度改革への対応に追われてきた。それについては、先日の日歯代議員会で回答しており、また日歯広報をご覧いただきたい。本日も厚労省のヒヤリングに前回とほぼ同じ60名を超える議員が集まって頂き総論を話させて頂いた。日歯は学術団体、公益法人としてきちんとして建前の論理を出すのが、それを支えるのは政治力であると思っている。参議院選で石井みどり候補が当選すればプロジェクトに集まる議員の熱気が違ってくるので必ず当選させて頂きたい。日歯も全力で支援をしていくが、正面から戦うのは日歯連盟なので頑張ってください。千葉、奈良から2名の先生が出られるが、もし当選されると5名の議員となり大きな力となるであろう。また、次の診療報酬改定では必ずプラス改定にしなければならぬ。それを一番の努力目標にしたい。日歯の唐沢会長ともすり合わせをしたところであるが、これ以上マイナス改定が続けば、日本の医療制度は崩壊してしまうと言っている。強く訴え、政策掲げて交渉を続けて行きたい。旨の挨拶があった。続いて、石井みどり候補が挨拶し、「1年前の3月24日から職域代表に選ばれて以来、全国を廻っておりすでに2巡目になる。励まず会等々で全国の評議員の先生方には入念な準備の上、励ましを頂いていることに本席をお借りしてお礼を申し上げます。26万を超える支援者名簿を頂いているが、まだ十分ではないので更なるご支援をお願いしたい。もし職域代表がいなくなればただの陳情団体になってしまう。白須賀、松井両候補とも永田町に行かせて頂き、この低迷し閉塞した歯科界を立て直して行きたい。残る日程を命懸けで戦って行くので最後までご支援を賜りたい」と述べた。

第100回評議員会事前質問

質問番号	題 目	質 問 者
1	事前質問について	埼玉県・関 磯次 議員
2	会員の心を掴む連盟活動のあり方について	宮崎県・田島 逸男 議員
3	業者を介した患者への金券発行について	東京都・三浦 健二 議員
4	歯科医師の需給問題について	神奈川県・大嶋 基司 議員
5	自民党内の複数の歯科医療を考える会について	神奈川県・村岡 宜明 議員
6	「調査研究部門」の設立に関して	神奈川県・富田 篤 議員
7	日歯連盟内部に設置予定の調査研究部門について	新潟県・山下 智 議員
8	歯科関係議員による法案提出について	千葉県・砂川 稔 議員
9	役員任期について	秋田県・石田 宏 議員
10	石井みどり後援会活動について	群馬県・松本 常男 議員
11	支援者の獲得について	長野県・池田 守人 議員
12	石井選挙について	神奈川県・中村 昌人 議員
13	次期参議院議員選挙について	愛媛県・山本胸三郎 議員

祝い申し上げます。この1年、主に診療報酬改定後の会員皆様からの批判を受けての対応と医療制度改革への対応に追われてきた。それについては、先日の日歯代議員会で回答しており、また日歯広報をご覧いただきたい。本日も厚労省のヒヤリングに前回とほぼ同じ60名を超える議員が集まって頂き総論を話させて頂いた。日歯は学術団体、公益法人としてきちんとして建前の論理を出すのが、それを支えるのは政治力であると思っている。参議院選で石井みどり候補が当選すればプロジェクトに集まる議員の熱気が違ってくるので必ず当選させて頂きたい。日歯も全力で支援をしていくが、正面から戦うのは日歯連盟なので頑張ってください。千葉、奈良から2名の先生が出られるが、もし当選されると5名の議員となり大きな力となるであろう。また、次の診療報酬改定では必ずプラス改定にしなければならぬ。それを一番の努力目標にしたい。日歯の唐沢会長ともすり合わせをしたところであるが、これ以上マイナス改定が続けば、日本の医療制度は崩壊してしまうと言っている。強く訴え、政策掲げて交渉を続けて行きたい。旨の挨拶があった。続いて、石井みどり候補が挨拶し、「1年前の3月24日から職域代表に選ばれて以来、全国を廻っておりすでに2巡目になる。励まず会等々で全国の評議員の先生方には入念な準備の上、励ましを頂いていることに本席をお借りしてお礼を申し上げます。26万を超える支援者名簿を頂いているが、まだ十分ではないので更なるご支援をお願いしたい。もし職域代表がいなくなればただの陳情団体になってしまう。白須賀、松井両候補とも永田町に行かせて頂き、この低迷し閉塞した歯科界を立て直して行きたい。残る日程を命懸けで戦って行くので最後までご支援を賜りたい」と述べた。

会務報告が渡邊敏弘理事長より
 会計報告が村田憲信副理事長より
 監査報告が竹内昌司常任監事より
 それぞれ報告された後、報告に対する質疑応答が行われた。続いて議事事項に移り、
 第1号議案 平成19年度事業計画
 第2号議案 平成19年度会費の額
 第3号議案 平成19年度事項に関する9題の事前質問
 一般会計収支予算
 第4号議案 平成19年度政治活動運営会計収支予算
 第5号議案 平成19年度運営基金積立金会計収支予算
 第6号議案 平成19年度役員退職金積立金会計収支予算の議案
 すべてについて質疑応答の後、承認可決された。続いて、会務運営関連事項に関する9題の事前質問に対する質疑応答が行われ、最後に秋山治夫副会長の閉会の辞をもって全日程を終了した。

時局報告が永山一行会長より

連盟支部だより

安佐支部

石井みどり氏を励ます会

2月22日(木)午後6時30分より県歯会館6階「ハーモニーホール」に於て標記の会が開催された。

石井氏は広島県出身の候補であり、地元広島県が先頭に立って支援の輪を全国に広げていかなければならない。



歯科医療の実現を国政の場へ

険というすばらしい制度のなかで、日本は他の先進国と比べても非常にレベルが高い歯科医療が提供されている。

石橋良三県議会議員候補出陣式

3月30日(金)午前9時より必勝の祈りを込めた神事が行われた後、9時30分から安佐南区西原の石橋県議事務所にて出陣式が開催された。



5期目を目指す石橋候補

竹原豊田支部

石井みどり後援会発会式

平成19年1月21日(日)午後2時より、石井みどり広島県後援会竹原豊田支部発会式が竹原市ホテル大広苑「飛鳥の間」に於て竹原豊田歯科医師会員など50名あまりが出席する中行われた。

石井みどり候補は前夜静岡で会合があったが、疲れも全く感じさせない

に低く抑えられている。現在の誤った歯科医療政策を正すには、本日に歯科医療の現場を知った現実を知った仲間が、国政の場できちんと訴えていかなければならない。



力強い決意表明をする石井候補

安芸高田・山県支部

石井みどり氏を励ます会

平成19年2月22日(木)午後6時「エソール広島2階」に於て、広島県歯科医師連盟安芸高田支部・山県支部合同で「石井みどり氏を励ます会」が開催された。

その後、上野修・光野聖司両支部評議員の音頭により全出席者の「がんばろうコール」で会場が一致団結した。



全出席者によるがんばろうコール

平成18年度 広島県歯科医師連盟会計現況報告書

(平成18年12月31日現在)

(単位:円)

【収入の部】

Table with 6 columns: 科款, 目項, 予算額, 収入済額, 予算との差額, 摘要. Rows include 1.会費, 2.寄付金, 3.雑収入, 4.繰越金, and 収入合計.

【支出の部】

Table with 6 columns: 科款, 目項, 予算額, 収入済額, 予算との差額, 摘要. Rows include 1.経常経費, 2.積立金, 3.政治活動費, 4.予備費, and 支出合計.

(上記支出科目中、款内各項間の流用はこれを妨げない。)

収入合計 43,790,915円
支出合計 36,744,283円
差引残高 7,046,632円

上記について、諸帳簿ならびに証拠書類と照合の結果、適正に処理されていることを認める。

平成19年2月15日
広島県歯科医師連盟
監事 関野 憲 三
長尾 誠
三浦 藤 夫

石井みどり候補 広島県北地域挨拶回り

日本歯科医師連盟参与で次期参議院比例代表候補の石井みどり氏は、3月6日(火)・7日(水)の両日、主に広島県の北部地域に位置する先生方の診療所を精力的に廻られ、会員の先生方は勿論、ご家族・従業員の方々に幅広く支持を訴えてきた。

6日(火)は、午前中に広島市佐伯区にある医療法人PIAの「ナカムラ病院」の理事長と面談を行った後、午後からは

訪問医院 (県北)

- ・三宅歯科医院
- ・元林歯科医院
- ・片山歯科
- ・向井第二歯科
- ・松田歯科医院
- ・吉岡歯科クリニック
- ・林歯科
- ・片岡歯科
- ・西村歯科
- ・折田歯科
- ・向井歯科医院
- ・まつお歯科医院
- ・はたじき歯科
- ・宮崎歯科
- ・牧原歯科医院
- ・みやじ歯科
- ・生熊歯科
- ・佐々木歯科医院
- ・山崎歯科医院

(安佐)

- ・上野歯科医院
- ・黒岩歯科医院
- ・佐々木歯科医院等
- ・谷口歯科医院
- ・第一歯科医院
- ・竹下歯科医院
- ・横引歯科医院
- ・田辺歯科医院
- ・穴村歯科医院
- ・戸田歯科
- ・松本歯科医院
- ・岩崎歯科
- ・横畑歯科医院
- ・やまもと歯科
- ・松村歯科医院
- ・小早川歯科
- ・高崎歯科医院
- ・山河歯科医院
- ・西村歯科医院
- ・岡橋歯科医院
- ・吉光歯科医院等

石井みどり候補 県東部地区を駆け巡る

次期参議院比例代表候補で日本歯科医師連盟参与の石井みどり氏は、2月23日(金)午前中に府中市内、午後は福山市内の計28軒の会員診療所を訪問して廻った。

行く先々で、会員始め家族・スタッフの皆様から暖かい歓迎と力強い激励の言葉を受けながら、石井候補は一軒ずつ診療

訪問医院

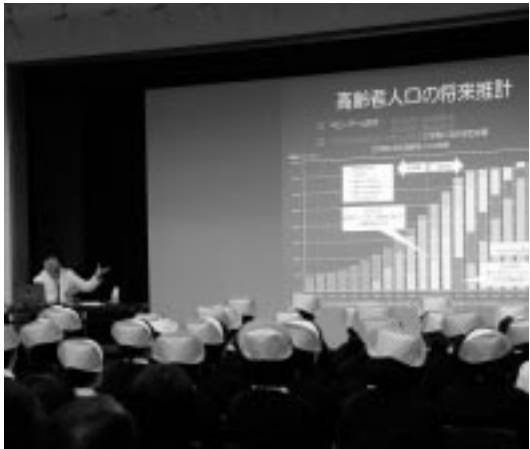
- ・黒河歯科医院
- ・藤岡歯科医院
- ・小西歯科医院
- ・小林歯科医院
- ・門田歯科医院
- ・和田歯科
- ・鼓歯科医院
- ・はま歯科医院
- ・藤井歯科医院
- ・河底歯科医院
- ・高橋歯科
- ・堤歯科医院
- ・宝諸歯科
- ・宇根歯科
- ・谷本歯科
- ・日野歯科
- ・杉原歯科医院
- ・梶田歯科
- ・高橋歯科医院
- ・魚住歯科医院
- ・越智歯科医院
- ・佐藤歯科医院
- ・石井歯科医院
- ・岡本歯科医院
- ・大正町歯科
- ・キタカ歯科
- ・小川歯科医院
- ・矢野歯科医院

広島高等歯科衛生士専門学校 第37回戴帽式及び記念講演

平成19年2月5日(月)、石井みどり前日本歯科医師会常務理事による記念講演が行われた。

石井みどり先生は、「これからの歯科衛生士に求められるもの」と題して、近年、益々業務範囲が拡大し、その重要性が認識されてきた歯科衛生士のこれから役割について、約1時間にわたって熱弁を振るわれた。

先生の講演は、今から臨床実習に出る2年生や、卒業を間近にした3年生にとって、教室での授業以上に心に残る実のある記念講演であった。



石井みどり氏による記念講演

広島県歯科医師連盟評議員・予備評議員

任期/平成19年4月1日~平成21年3月31日

支部	評議員	予備評議員	支部	評議員	予備評議員
広島市	土江健也	山本智之	福山市	神原和暢	新長恭英
	川原正照	本山智得		鳥枝信雄	平井元章
	熊谷宏	荒谷恭史		濱田典久	橘高利尚
	中本雅志	瓜生賢		猪原信俊	長谷康弘
	久保康治	三戸敦史		門前厚徳	土屋公俊
	大石正臣	河村久輝		小林修之	岡本史江
	小島敏嗣	新見通敏		小川秀典	西谷満
	別木亮一	水上良知		角田隆	藤井量一
	益田吉人	岡村泰治		酒井清文	宮地伸治
	小早川靖	有馬和孝		奥井寛	西野宏
	大保順一	森永行雄		桑原雅夫	相良正明
	小林譲治	小跡清隆		新田栄治	門脇敬二
安佐	椿田直也	福島一則	山県	光野聖司	本田仁
	西村好一	山近一生		福原健治	三善陸朗
	田辺直彦	横引昌樹		末永輝義	三登龍郎
	横畑裕之	杉岡英明		宮木克章	青地達朗
呉	竹下哲	大心地清和	東広島	林和興	山岡敏行
	足利明	辰川恵		歌野原之	川口健二
	佐々木元	櫻井隆		武本和久	早志卓展
	市川一平	市川二郎		黒川貞幸	大田康弘
三原	佐藤享一	堂脇一朗	府中	井上真吾	小林弘治
	稲田達史	伊藤弘文		谷川昌生	横田博文
	平田秀己	砂田岳		山崎信義	桂啓介
尾道	三藤聡	古川龍太	三次	向井浩三	佐々木岳彦
				横山勝	高橋真治

広島県歯科医師連盟役員

任期/平成19年4月1日~平成21年3月31日

役員	氏名	郡市名	役員	氏名	郡市名
会長	山科透	佐伯市	理事	黒岩整治	安芸高田市
副会長	森本克廣	広島市	理事	三宅公介	山県郡
副会長	徳久行夫	福山市	理事	三好秀樹	竹原・豊田
副会長	穴村紳一	安佐市	理事	川越則昭	広島市
理事長	荒川信介	広島市	理事	正田靖史	御調・世羅郡
副理事長	藤井弘敬	呉市	理事	谷口雅昭	安佐
副理事長	瀬山淳	三次市	監事	沖本和夫	大竹市
副理事長	赤木真一	佐伯市	監事	久保木利正	広島市
常任理事	藤井春男	東広島市	監事	三宅通太	広島市
常任理事	斎藤徹雄	因島	常任顧問	林正夫	
常任理事	榎林正夫	佐伯市	常任顧問	石橋良三	安佐
常任理事	野間博	安芸	特別顧問	中川秀直	
常任理事	永井一夫	三原市	特別顧問	溝手顕正	
常任理事	岡田信彦	安芸	相談役	高橋立夫	福山市
常任理事	小西貞夫	府中地区	相談役	松島悌二	広島市
常任理事	角田収司	大竹市	相談役	長岡貞彦	尾道市
常任理事	宗永泰一	尾道市	相談役	今田良男	佐伯
理事	宮地甲陽	庄原市	相談役	本山栄荘	広島市
理事	安名弘行	神石郡			

編集後記



江夏俊史 中川信二 堀江泰史 赤木真一 佐野隆志

新米委員としてスタートすることになりました。選挙の年に多くの仕事があるか、新入生のように期待と不安でいっぱいですが、先輩方の足を引っ張らぬよう、政治に関心をもち、学習していこうと思っております。頑張ります。(泰)

今夏の参院選前哨戦とも言える第16回統一地方選挙の結果は自民党に逆風を感じているところでもあります。その自民推薦であります石井みどり選挙もいよいよ大詰めです。林正夫県議、石橋良三県議のような快勝のイメージを持って取り組ましましょう。(T)

統一地方選前半戦が終わった。推薦候補者32名中26名当選した。参議院選挙まで3カ月を切った。石井候補は精力的に広島県内も廻っている。あと少しがんばってください。(S)

自民党は統一地方選に大敗を喫した。夏の参院選を目前に、自民党も歯科医師連盟も一団となつて闘う必要がある。よって石井候補出身県として支援者名簿の未提出者はゼロでなければいけない。委員長続行となりました。引き続き宜しくお願い致します。(志)